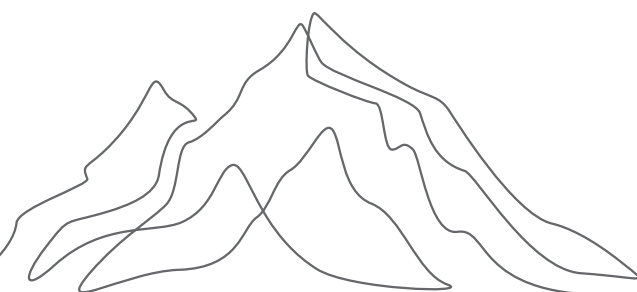


地域中核・特色ある研究大学強化促進事業

Program for Forming Japan's Peak Research Universities



■ 委員長挨拶

新たな価値創造の源泉となる「知」と「人材」を輩出し、社会の新陳代謝を促し得る大学の存在は、インクルーシブで持続可能な知識集約型社会へとグローバルな社会構造が大きく変化し、18歳人口が減少する中において、重要な社会インフラ基盤です。大学には、新たな社会ニーズに積極的に応えていくことに留まらず、新たな価値創造を通じて、次代の社会構造の転換を促し得る大胆なビジョンを自ら提唱し、グローバルアジェンダを牽引することが社会から期待されていると感じています。

これを踏まえ、地域中核・特色ある研究大学は、国際卓越研究大学と共に両輪となって相乗的・相補的な連携を行い、特色ある研究の国際展開や地域の経済社会の発展、国内外の課題解決を図ることで大学の活動を拡張させ、ともに研究大学群として発展していくことが重要です。

令和5年度に公募を行った「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業」では、69の大学から申請があり、審査の結果12大学が採択となりました。採択大学は意欲的な取り組みが多いがゆえに、困難な道のりとなることも考えられます。しかし、こうした困難にも打ち勝ち、学長を中心とした取組を着実に実施し、世界の中で輝く大学へと発展していくことを確信しています。

地域中核・特色ある研究大学の振興に係る事業推進委員会

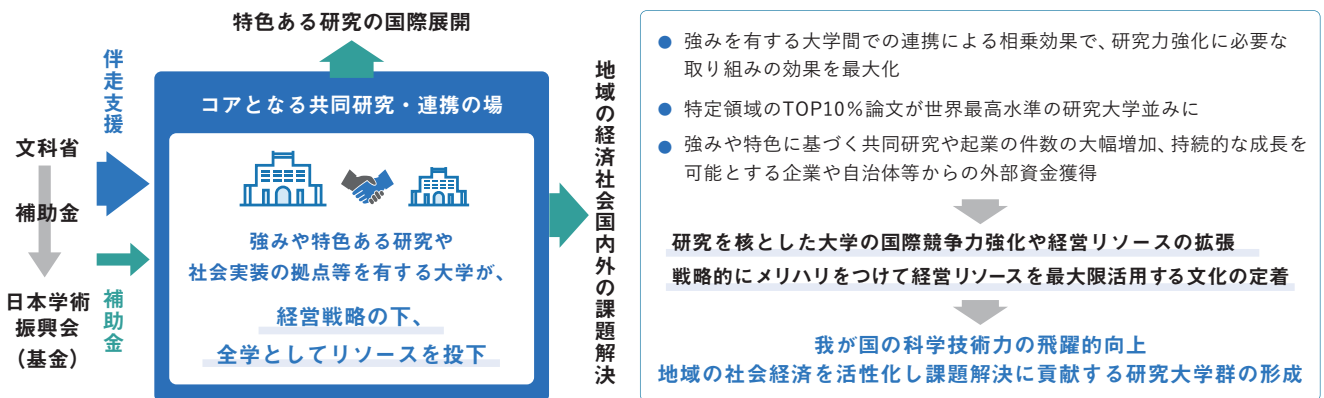
委員長 **山崎 光悦**



目的

地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(J-PEAKS)は、①強みを持つ特定の学術領域の卓越性を発展させる機能、②地球規模の課題解決や社会変革に繋がるイノベーションを創出する機能、③地域産業の生産性向上や雇用創出を牽引し、地方自治体、産業界、金融業界等との協働を通じ、研究力を活かして地域課題解決をリードする機能を有する地域中核・特色ある研究大学が、特色ある研究の国際展開や、地域の経済社会や国内外の課題解決を図っていくよう、特定の強い分野の拠点等の強みを核に大学の活動を拡張させるとともに、大学間での効果的な連携を図ることで、研究大学群として発展していくための支援事業です。

事業スキーム

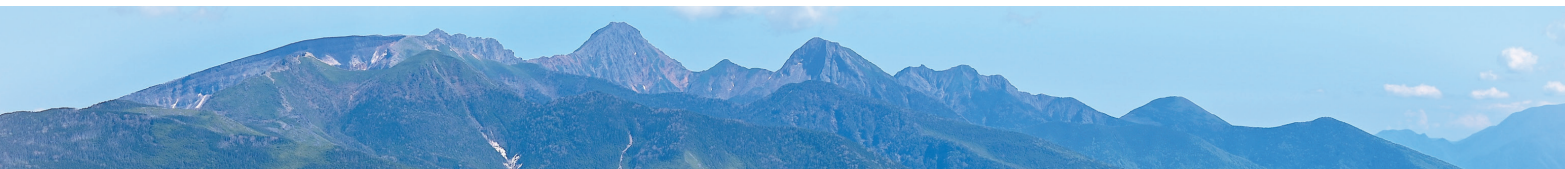


事業内容

地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(J-PEAKS)では、強みや特色ある研究、社会実装の拠点等を有する国公立大学を対象に、当該大学が、研究力の飛躍的向上に向けて10年後の大学ビジョンを描き、そこに至るためのプロセスを構想し、強みや特色ある研究力を核とした戦略的経営の下、他大学との連携等を図りつつ、研究活動の国際展開や社会実装の加速・レベルアップの実現に必要なハードとソフト双方の環境構築の取組を支援します。

事業概要

| | | | | |
|--------|---|---|---|---|
| 事業実施期間 | 令和5年度～（5年間、基金により継続的に支援） ※最終年度となる5年度目を目途に評価を行い、進捗に応じて、必要な支援を展開できるように、文部科学省及び日本学術振興会において取組を継続的に支援（最長10年を目途） | | | |
| 支援件数 | 最大25件程度（令和5年度に12件を採択済） | | | |
| 支援対象 | 強みや特色ある研究や社会実装の研究拠点（世界トップレベル研究拠点プログラム（WPI）や共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）等の拠点形成事業、地方自治体・各府省施策、大学独自の取組等によるもの）等を有する国公立大学のうち、研究力の向上戦略を構築した上で、全学としてリソースを投下する大学 | | | |
| 支援経費 | 大学が策定した研究力の向上戦略の実現に必要な経費として以下を支援（1件当たり最大55億円程度） | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>戦略的実行経費（最大25億円程度（5億円程度/年）/件）：研究戦略の企画・実行、技術支援等を行う専門人材の人件費、研究者の人件費、旅費、謝金、調査費、その他研究力の向上戦略の実行に必要な経費</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>研究設備等整備経費（最大30億円程度（最大15億円程度/1連携大学）/件）：研究機器購入費、研究機器購入に伴う設置経費、研究・事務DX（デジタル・トランスフォーメーション）や研究機器共用の推進を含む研究環境の高度化に向けて必要となる環境整備費、その他研究力向上に係る研究設備の整備費及びその付帯事務費等</td> </tr> </table> | A | 戦略的実行経費（最大25億円程度（5億円程度/年）/件）：研究戦略の企画・実行、技術支援等を行う専門人材の人件費、研究者の人件費、旅費、謝金、調査費、その他研究力の向上戦略の実行に必要な経費 | B |
| A | 戦略的実行経費（最大25億円程度（5億円程度/年）/件）：研究戦略の企画・実行、技術支援等を行う専門人材の人件費、研究者の人件費、旅費、謝金、調査費、その他研究力の向上戦略の実行に必要な経費 | | | |
| B | 研究設備等整備経費（最大30億円程度（最大15億円程度/1連携大学）/件）：研究機器購入費、研究機器購入に伴う設置経費、研究・事務DX（デジタル・トランスフォーメーション）や研究機器共用の推進を含む研究環境の高度化に向けて必要となる環境整備費、その他研究力向上に係る研究設備の整備費及びその付帯事務費等 | | | |





北海道大学

参画機関

メルボルン大学／マサチューセッツ大学
アマースト校／地方独立行政法人
北海道立総合研究機構／室蘭工業大学／
北海道国立大学機構 小樽商科大学／
北海道国立大学機構 帯広畜産大学／
北海道国立大学機構 北見工業大学

フィールドサイエンスを基盤とした
地球環境を再生する新たな持続的
食料生産システムの構築と展開

総長
寶金 清博

取組内容の概要 本学は、農学・水産学・
環境科学・生態学・生命科学等の本
学の強みを結集し、国内最大規模のフ
ィールドである北海道を活用して全学
的に本事業を推進し、リジェネラティ
ブ（環境再生促進型）な持続的食料生
産システムの研究開発および社会実装
を目指します。

さらに、先端融合研究や産業創出等
に結び付く新たな研究プロジェクトを
創発・育成するための新組織およびプ
ラットフォームをトップダウンかつ戦
略的に構築し、本学と海外大学や北
海道内の参画機関との連携強化によ
り、研究力の向上と世界の課題解決
の双方を実現します。

学長メッセージ HU VISION 2030
で掲げた「持続可能なWell-being社
会の実現」に向けて、本事業により研
究の卓越性”Excellence”と社会展開
力”Extension”を高めながら好循環
させ、世界の課題解決・社会変革を
先導する大学となることを目指しま
す。



千葉大学

参画機関

東京大学／筑波大学／東京理科大学
生命医科学研究所／理化学研究所／
量子科学技術研究開発機構／
カリフォルニア大学サンディエゴ校
(粘膜免疫治療学・ワクチン開発研究センター／
微生物叢技術革新センター)

免疫学・ワクチン学研究等を戦略的に
強化し、成果の社会実装に繋げると
ともに、取組を学内に横展開する

学長
横手 幸太郎

取組内容の概要 データサイエンスコ
ア、ヒト免疫疾患治療研究・開発セン
ターや次世代in vivo研究探索センター
の設置を通して免疫学・ワクチン学研
究、予防医学研究等を戦略的に強化す
るとともに、バイオ×健康領域のイノ
ベーション創出を加速します。また、本
学出資の株式会社の設立等を通して本
学を核としたイノベーション・エコシ
テムを構築することで、成果の社会実
装に繋がります。さらに、これらの取
組を学内に横展開し、本学全体の中
長期的な発展を目指します。

学長メッセージ “世界に冠たる千
葉大学へ”という高い目標に基づく10
年後の大学ビジョン「強みや特色あ
る研究領域において、学び、研究し、
イノベーションを創出する場として、
国内外の学生や研究者に選ばれる大
学」の実現に向け、世界的卓越性を追
求します。



東京農工大学

連携大学

電気通信大学／
東京外国語大学

参画機関

ハワイ大学マノア校／
クイーンズランド大学

西東京の三大学が食と
エネルギー研究を海外展開し、
国際イノベーション創出するための
研究力強化を推進する

学長
千葉 一裕

取組内容の概要 西東京地区の三大学
が「世界へ展開する食とエネルギーのサ
ステナブルイノベーション」をテーマに
、基礎研究力強化と国際共同研究成果
をもとにした海外資金獲得力強化、多
様な人材の確保と育成強化を通して、
研究成果の国際社会実装を進めるこ
とで、国際的求心力を高めます。食と
エネルギーの西東京国際イノベーシ
ョン共創拠点や今回新設するサステナ
ビリティサイエンス研究センター、三
大学共同戦略立案オフィス、本学が
組成する認定ファンドや100%出資
のコンサルティング会社を通じ、研究
成果の社会実装を進めます。

学長メッセージ 採択大学と国内・海
外連携大学の「知」を集結させ、世界
の「産」へと展開できる研究卓越性
とイノベーションエコシステムを兼備
する研究力を獲得し、資金循環によ
り教育研究の充実・質向上へとつな
げる経営方法を確立することを10年
後の大学ビジョンに掲げ事業を推進
していきます。





TOKYO GEIDAI

東京芸術大学

連携大学

香川大学

参画機関

東京大学／
東京医科歯科大学／
東京工業大学

アートと科学技術による「心の豊かさ」
を根幹としたイノベーション創出と
地域に根差した課題解決の広域展開

学長

日比野 克彦

取組内容の概要 アートと科学技術とを掛け合わせ、都市集積型、地方／地域型、多文化共生型の各課題解決に即した3つの共創モデルの開発、アートが与える社会的・経済的インパクトの数値的評価、およびこれらのための環境・体制整備、人材育成を進めます。多様な人々が共創・実践しそのプロセスを発信できる場である「芸術未来研究場」をベースに、国内外の大学、企業、市民らとの協働により、持続性のある社会に向けて必要となるアートの役割を探究し、アートが未来の新産業を生み出す姿を示すことで、人と地球のこれからを想像／創造していきます。

学長メッセージ 「人が生きる力」であるアートを基軸に、「一人ひとりの心の豊かさ」への眼差しを根幹として現在のSDGsが示す17のゴールの垣根を融かし、異なる専門性や科学技術との融合によるイノベーション創出と、地域に根差した課題解決・社会実装について、国内外で中核的な役割を担っていきます。



慶應義塾大学

連携大学

沖縄科学技術大学院大学

参画機関

キングス・カレッジ・ロンドン／
ケルン大学／延世大学校／
ノースウェスタン大学

智徳の協働で、多様な研究拠点を
生み出し育む「土壌」を醸成し、
比類なき研究で未来の
コモンセンスをつくる

学長

伊藤 公平

取組内容の概要 先行するヒト生物学-微生物叢-量子計算、都市型ヘルスケア、地域資源循環に関する研究拠点を核とし、多様な拠点を創出・成長させるために、グローバルリサーチインスティテュートとイノベーション推進本部が両輪となり、領域横断研究、社会課題解決、社会実装までを支援する体制（土壌）を構築します。新たに整備するイノベーション施設とインキュベーション施設を土台とし、国内外の社会課題解決やスタートアップを通じた新産業創出に向けた取組を実施することで、イノベーションを生み出す大学の機能強化を図ります。

学長メッセージ 学問によって社会を豊かにし、社会からの学問への信頼を高める「学問の社会実装」と、経済発展を促進する「起業家・実業家の創生」を実現し、実学の成果を未来のコモンセンスとして成就させる研究エコシステムを確立します。



金沢大学

連携大学

北陸先端科学技術大学院大学

参画機関

東京大学

予測不可能な時代の社会変革を
主導する文理医融合による
非連続的なイノベーションを
起こす世界的拠点の形成

学長

和田 隆志

取組内容の概要 若手研究者支援や研究支援人材の配置、コアファシリティ機能の強化、融合研究の推進により全学的な研究力の底上げを図るとともに、世界標準の教育研究環境を整備し、文理医融合の世界的研究拠点を形成します。また、未来知実証センターを通じて実証研究・事業開発の推進、本学発VCや北陸先端科学技術大学院大学、東京大学との連携によるスタートアップ・エコシステムを形成し、スタートアップ先進地区へ押し上げるとともに、新設する北陸産学連携推進本部を核に産学官金連携の推進に取り組み、北陸地域の社会実装機能を強化します。

学長メッセージ 10年後のビジョンである「文理医融合による非連続なイノベーション（これまでの延長線上にない新たな価値の創造）を創出し続ける世界的拠点の形成」に向け、基礎研究・融合研究の高度化、社会実装の最速化を図ることにより、「未来知」による社会貢献をより一層加速していきます。





信州大学

参画機関

山梨大学／東京大学／東海国立大学機構 名古屋大学／東京理科大学／ダルエスサラーム大学／ネルソン・マンデラアフリカ科学技術大学／エルドレット大学／チュロンコン大学／モンクット王工科大学ラートクラバン校／ベトナム国家大学／北京化工大学／サウジアラビア海水淡水化公社

水関連先鋭研究を核に、
研究の卓越性、イノベーション創出、
地域貢献を三本の矢として
一体推進する

学長

中村 宗一郎

取組内容の概要 水及び水由来のグリーン水素エネルギーを核に地球環境再生を目指す諸学術分野を『アクア・リジェネレーション (ARG) 分野』と定義し、これらの研究リソースを集結させたARG機構を中心に、地球規模での課題解決、社会実装、そして新産業創出をリードします。また、大学院に水関連専攻を新設し、水問題が深刻な国々から人材とニーズを受け入れ、国際的な共創と人材育成に取り組みます。一連の研究はARG共創研究センターを主要拠点として実施し、長野県内にも実証タウンを構築して、地域に軸足を置きながらも世界規模での課題解決を実践します。

学長メッセージ アクア・リジェネレーション分野の研究力を核に、一歩先のソリューションを共創する大学を目指します。研究の卓越性・イノベーション創出・地域貢献を一体推進し、圏域を超えた地域の中核的存在であり続けるためのビジョン「グレーター・ユニバーシティ・ビジョン」を実現します。



大阪公立大学

連携大学

長岡技術科学大学

参画機関

東北大学／奈良国立大学機構
奈良女子大学／徳島大学／大阪
公立大学工業高等専門学校／ニューメキシコ大学／
ブラウン大学／王立ブノンベン大学／国立台南大学／
パンヤピワット経営大学

イノベーションアカデミー
事業の推進による
マルチスケールシンクタンク機能を
備えた成熟都市創造拠点の構築

学長

辰巳 砂 昌弘

取組内容の概要 各キャンパスのリビングラボを連携させる全学ネットワーク型イノベーション・エコシステムを構築するイノベーションアカデミー事業により、「総合知」の実践の場を提供するとともに、技術移転戦略体制の強化を図ります。また、産学官民の共創プロジェクトを推進し、地域の課題解決に向けた取り組みを通じてソーシャルキャピタルを醸成させます。そこから「おおさか」のみならず、アジア諸国の地域にも適応できるSocial Impact指標を議論する場「アジアラウンドテーブル」を組成します。

学長メッセージ 「総合知を駆使して社会課題に立ち向かう大型公立大学」として、大阪の成熟都市化を本学が牽引し、「地域からの信頼を得ながらwell-being都市モデルを発信する未来アジアの都市シンクタンク」へと、成長することを目指します。



神戸大学

連携大学

広島大学

参画機関

大阪大学／理化学研究所／マンチェスター大学／トゥールーズ大学／イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校／シンガポール国立大学／テキサス大学オースティン校

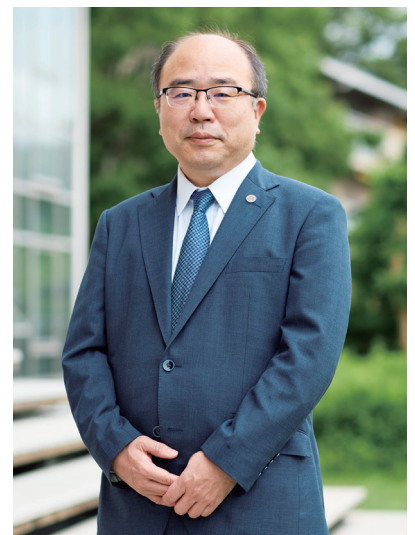
バイオものづくりの卓越した
基礎研究と社会実装の両輪で
世界をリードするイノベーションを
継続的に創出

学長

藤澤 正人

取組内容の概要 世界に伍するバイオものづくり共創研究拠点の形成、研究環境のDX・自動化の全学展開、グローバル・イノベーション創出機能の強化、地域産業のグローバル展開、の4つの取組を中心に進めます。世界的な研究機関と連携しながらバイオものづくりの世界的な研究拠点を形成しつつ、それらの成果からグローバル・スタートアップを輩出します。また、神戸市と密に連携してポートアイランドを中心にバイオものづくり研究拠点群、スタートアップ拠点群、企業群からなるグローバル・バイオクラスターを形成します。

学長メッセージ 社会実装につながる世界トップレベルの研究によるイノベーション創出とそれらを牽引する優秀な人材を輩出するグローバル・バイオクラスターを形成し、本事業成果を全学に展開し、神戸大学を世界に伍する「グローバル・イノベーション・キャンパス」へ変革することを目指します。





OKAYAMA
UNIVERSITY

岡山大学

参画機関

筑波大学／東京大学／東京工業大学／
山梨大学／大阪大学／山口大学／
理化学研究所／自然科学研究機構／
津山工業高等専門学校

地域と地球の未来を共創し、
世界の革新の中核となる研究大学
～持続可能な社会を実現させる
10年構想～

学長

那須 保友

取組内容の概要 「光合成・植物科学領域」の深化と「材料・エネルギー領域」の融合、「医学・臨床医学領域」の3領域で課題解決のブレークスルーを生み出します。さらに、企業等とともに世界的地球環境課題や地域・社会課題に向き合う、卓越した研究力とイノベーション力を兼ね備えた地域の中核大学として、「知識によって社会を変革するナレッジワーカー(知識労働者)」を育成・輩出します。研究・イノベーションの叡智で地球と生態系の健康、Well-being・人の健康および安心・安全に暮らせる地域の健康の実現と、そのための社会変革を実現します。

学長メッセージ エビデンスに基づいた資源の重点投資を通じて世界トップレベルの研究領域やイノベーション創出拠点を形成し、社会変革を起こせる研究大学を目指すとともに、「不易流行の大学経営」を通じて、誰もがワクワク・ドキドキと過ごせる「誇りと希望の学都」を目指します。



広島大学

連携大学

神戸大学

参画機関

東北大学／東京医科歯科大学／
東京工業大学／豊橋技術科学大学／
高エネルギー加速器研究機構／
アリゾナ州立大学／パデュー大学

放射光による物質の見える化技術
を核とした半導体・超物質及び
バイオ領域融合型産業集積
エコシステムの実現

学長

越智 光夫

取組内容の概要 世界的に希少な紫外線領域の放射光によるさまざまな物質の可視化を通じて、半導体・超物質、再生・細胞医療・創薬の融合研究領域を中心に研究力向上に取り組みます。また、広島および瀬戸内地域などの環境や資源などを活かし、連携・参画大学、自治体や産業界等とも共創しながら、世界中の「知」を集め、学術領域の卓越性を高めます。グローバルとローカルの両視点から、地球規模の課題解決、社会変革につながるイノベーション創出、地域産業の生産性向上および雇用創出等を牽引する国際展開型の地方創生モデルを構築し、展開します。

学長メッセージ 10年後の大学ビジョンの実現に向け、あらゆる壁を越えて多様な人材が参画する仕組みを構築し、人・知・資源の好循環のハブとなる「Hiroshima Research & Innovation Valley」を形成して、国際展開型地方創生モデルを構築します。



沖縄科学技術大学院大学

連携大学

慶應義塾大学／琉球大学

参画機関

東北大学／東京大学／大阪大学／九州大学／
理化学研究所／ケンブリッジ大学／マックスプランク研究所／
スタンフォード大学／カリフォルニア大学サンディエゴ校(スクリップス海洋研究所)／ハワイ大学／フランス国立科学研究センター、チャルマース工科大学、オックスフォード大学

【OIST-neXus戦略】
国際卓越性追求、
破壊的イノベーション創出、
沖縄振興、ゲートウェイ機能強化

学長

カリン・マルキデス

取組内容の概要 沖縄および国内外の広く多様な産学官金パートナーと戦略的連携を総合的に推進し、バイオ・量子研究等の研究拠点やコアファシリティの活用を基盤として研究の卓越性・国際性・学際性を強化します。更に、世界的・地域的な課題解決に資するイノベーションの創出を加速し、沖縄振興に貢献します。また、本学が日本と世界を繋ぐ架け橋となるゲートウェイ機能を強化することにより、国内の研究者や大学における人材の国際化・高度化に貢献し、日本の研究力強化を牽引する研究大学群の一翼を担うための取組を推進します。

学長メッセージ 本事業は、10年後の展望を見据えたOIST新戦略において、我々の可能性を最大限に引き出すことを目的としています。研究の卓越性を一層向上させ、本学のミッションゴールに向けて進化し、21世紀の大学としての模範となり、イノベーションを通じた社会変革を牽引します。





信州大学

水関連先鋭研究を核に、研究の卓越性、イノベーション創出、地域貢献を三本の矢として一体推進する

研究推進部大型研究推進課

MAIL ken-arg@shinshu-u.ac.jp
TEL 0263-37-2035



北海道大学

フィールドサイエンスを基盤とした地球環境を再生する新たな持続的食料生産システムの構築と展開

研究推進部研究支援課

MAIL j-peaks2@research.hokudai.ac.jp TEL 011-706-9565



金沢大学

予測不可能な時代の社会変革を主導する文理医融合による非連続的なイノベーションを起こす世界的拠点の形成

J-PEAKS 推進室

MAIL jpeaks@adm.kanazawa-u.ac.jp
TEL 076-264-5196



TOKYO GEIDAI

東京芸術大学

アートと科学技術による「心の豊かさ」を根幹としたイノベーション創出と地域に根差した課題解決の広域展開

経営改革プロジェクト課

MAIL k-pro@ml.geidai.ac.jp
TEL 050-5525-2099



岡山大学

地域と地球の未来を共創し、世界の革新の中核となる研究大学
～持続可能な社会を実現させる 10 年構想～

研究・イノベーション共創管理統括部 研究協力課

MAIL innovation@adm.okayama-u.ac.jp
TEL 086-251-7115



慶應義塾大学

智徳の協働で、多様な研究拠点を生み出し育む「土壌」を醸成し、比類なき研究で未来のコモンセンスをつくる

学術研究支援部総務担当

MAIL chukaku-keio@adst.keio.ac.jp
TEL 03-5427-1678



広島大学

放射光による物質の見える化技術を核とした半導体・超物質及びバイオ領域融合型産業集積エコシステムの実現

学術・社会連携室 未来共創科学研究本部 研究戦略部 研究戦略グループ

MAIL gakuju-tu-strategy@office.hiroshima-u.ac.jp
TEL 082-424-5860



千葉大学
CHIBA UNIVERSITY

千葉大学

免疫学・ワクチン学研究等を戦略的に強化し、成果の社会実装に繋げるとともに、取組を学内に横展開する

NEXT Decennium 研究戦略推進本部

MAIL j-peaks-jim@chiba-u.jp
TEL 043-290-2982



神戸大学

バイオものづくりの卓越した基礎研究と社会実装の両輪で世界をリードするイノベーションを継続的に創出

研究推進部 DBLR 推進室 DBLR 推進グループ

MAIL ksui-dblr@office.kobe-u.ac.jp
TEL 078-803-5409



東京農工大学

西東京の三大学が食とエネルギー研究を海外展開し、国際イノベーション創出するための研究力強化を推進する

経営部経営企画課

MAIL keikaku@cc.tuat.ac.jp



沖縄科学技術大学院大学

【OIST-neXus 戦略】国際卓越性追求、破壊的イノベーション創出、沖縄振興、ゲートウェイ機能強化

プロポストオフィス J-PEAKS 担当

MAIL J-PEAKS@oist.jp



大阪公立大学

イノベーションアカデミー事業の推進によるマルチスケールシンクタンク機能を備えた成熟都市創造拠点の構築

産学官民共創推進室

MAIL gr-sngk-omu@omu.ac.jp
TEL 072-247-6098



独立行政法人日本学術振興会
経営企画部 大学経営支援課

〒102-0083 東京都千代田区麹町5-3-1 麹町ビジネスセンター 10F
TEL : 大学支援第二係 03-3263-1878 (直通)
E-mail : jsps-chukaku@jsps.go.jp
URL : https://www.jsps.go.jp/j-chukaku/index.html



文部科学省



JAPAN SOCIETY FOR THE PROMOTION OF SCIENCE
日本学術振興会